



発行/小諸市公民館
編集/館報編集委員会
〒384-0801
長野県小諸市甲1275-2
TEL 0267-23-8880
FAX 0267-25-2224



4 / 23(土)開催

家庭菜園講座

お天気良く、作業日和♪今年は、移住された方もたくさん参加してくれました。みんなで協力しながら、マルチ張り、苗の植付け、種まきをしました。ジャガイモ・ラディッシュ・えんどう豆。今から収穫が楽しみです♪

5 / 12(木)開催 初めてのポルトガル刺繍

お家時間を楽しむ

刺繍と聞くと細かな作業を連想しますが、ポルトガル刺繍は毛糸を使った取り組みやすい刺繍です。慣れてくると針の動きもスムーズになり、素敵なコースターが仕上がりました。



❖内容

- p.16 小諸市公民館基本方針ほか
- p.17 『ぼくとわたしの作品』(東小学校)
【募集】俳句の林間学校「第14回こもろ・日盛俳句祭」
- p.18 『わたしの宝物』(谷地区 宮沢芳文)
~19 (諸区 高城俊秀)
- p.19 『教えて!あなたのサークル』
(和服リフォームの会/はじめのいっほ)
- p.20 【募集】7月公民館講座ほか
- p.21 6月小諸市文化会館スケジュールほか



館報カラー版

昭和24年に創刊された「公民館報」は、今号で868号となります。

野球少年でジャイアンツ(巨人)ファンであった私としては、「868号」というとすぐにあの「一本足打法」で不滅のホームラン記録を打ち立てた王貞治さんのことを思い出します。

王さんは背番号が「1」で「ワンちゃん」とも呼ばれていました。昭和52年に米メジャーリーグのハンク・アーロンのホームラン記録を抜く756号を放った時の(王さんが打席でバンザイをしている写真の入り)お財布を親にせがんで買ってもらったのを今でも覚えています。

王さんは、引退するまでの22年間で868号の大記録を樹立しましたが、この「公民館報868号」発行までには、なんと73年もの長い年月がかかっています。

地域住民の様々な活動を記録することは「公民館報」の役割の一つでもありますので、地域の人々の繋がりがあられる限り今後もこの大記録は更新され続けると思います。



編集委員 楚山 伸二

— 小諸市公民館基本方針 —
学びを通して地域づくり・人づくりを



公民館講座より
 『遊びながら野生の力を呼び覚まそう』

新型コロナウイルス感染症の波がたびたび押し寄せ、公民館活動も翻弄され2年になります。公民館活動の基本である「集う」ことは、感染防止対策を徹底しながら徐々にもどりとつありましたが、コロナ禍前と比べるとまだほど遠い状況です。

また、少子化による人口構造の変化、生活様式や価値観の変化等を背景に、地域は様々な課題に直面し、住民自治の担い手不足や連帯意識の希薄化も指摘されています。

公民館は、戦後、日本の民主化と荒廃した郷土の復興を

目的とし、学習と交流を通じて住民自治の意識と力量を高めていく拠点として誕生しました。小諸でも昭和22年準備委員会が発足し、翌年公民館活動がスタートしました。それから70余年が経ち社会情勢の著しい変化に伴い、カルチャーセンター化や利用者の高齢化、固定化と減少が生じてきました。住民の公民館に対する意識や期待も変わってきています。

しかし、どのような社会情勢においても、学びを通して人づくり・地域づくりを進める拠点としての役目を公民館

が担っていることには変わりはありません。とりわけ新型コロナウイルス感染症による影響が続く中、さらには急激に進む社会情勢の変化を踏まえ、「公民館は何ができるのか」ということを絶えず考えていく必要があります。人々が繋がり、支え合い、誰もが安心して豊かに暮らせる地域づくりは、公民館が果たすべき大切な役割です。将来を見据え、今公民館に期待されることや役割を再認識し、公民館活動の一層の振興に努め、生涯学習の進展に寄与するため、昨年のテーマ「学びを通して地域づくり・人づく



こもろシニア教室より
 『ボールを使ったウォーキング』

り」を継承し、次の3点を令和4年度の運営の柱とします。
 ●生活課題・地域課題に関わる学習と実践を支援
 ●人々がつながり生きがいをもって暮らし続けるための学習と実践を支援
 ●住民の意向を捉え、期待に応えるために支館・分館との連携・支援を充実

また、以下を重点活動として位置付けます。

- ① 他機関、団体等との連携に努め、市内外の多様な方々との協力・協働による取り組みを進める。
- ② 青少年向け講座など幅広い年齢層を対象とした事業や、住民の主體的な学習に対する支援の充実を図る。
- ③ 住民の公民館に対する意向を把握し公民館活動への反映を図る。
- ④ 支館運営委員会等への参加により、支館・分館の実情を把握し支援の充実を図る。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症に対応した新しい公民館活動をはじめ、将来を見据え、これからの小諸市公民館のあり方について検討を進める。

活動発表をしてみませんか

文化センターでは、館内の共有スペースを日頃の活動発表の場として、開放しています。ぜひ、ご利用ください。



R3.10.6開催したロビーコンサートの様子

【ロビーコンサート】

1日1団体
 ロビーで個人や団体等の楽器演奏、歌の発表などに幅広くご利用いただけます。

【作品展示】

文化センター内に絵画、写真等の作品を展示できます。

★募集要項がありますので、詳しくは文化センターまでお問い合わせください。| 問合せ先 |

小諸市文化センター
 ☎0267-238880



東 小 学 校



「初めてのはん画」

5年1組 ^{きのした} 木下 ^{おうすけ} 桜介

ほくは、今回、彫刻刀を初めて使ったので、使い方が分からなくてきんちょうしました。でも、使いなれてくると、とても楽しいということがわかり、はん画は奥が深くおもしろいなと思いました。

初めの1枚は、ほくの家の丸に菱形というシンプルな家紋を彫りました。この1枚では、彫刻刀の使い方をしっかり覚える事ができました。先生から「使い方を間違えるとあぶないので気を付けましょう。」と説明があったので、使い方をよく見て慎重に彫りました。

2枚目と3枚目は、ほくの好きな作品を参考に、平面じゅうてんという模様を彫りました。同じ模様の繰り返しなので、案外彫りやすかったです。3枚目は、「白い所と黒い所を入れかえて彫る部分を作ろう。」と思い付き、挑戦しました。すると、細かく彫らなければいけなくなり、少し大変になりましたが、やりがいがあって楽しいと思いました。

これからも、版画をがんばりたいです。



「ごんぎつねを読んで」

5年2組 ^{みさいづ} 美齊津 ^{そうじろう} 宗二郎

国語の授業で、ごんぎつねの学習をしました。ごんぎつねの物語の中で一番心に残っているのは、最後の場面です。最後の場面というのは、兵十がごんだと気づかず、銃で撃ってしまい、撃った後にごんだと気づくという場面です。ほくは、その場面で、兵十が「おまえだったのか…」と言ったとき、どんな気持ちだったのだろうと思いました。ほくは、「なんてことをしてしまったんだ…」と放心状態だったのではないかなと思いました。

また、授業の中で、ごんぎつねの絵を描きました。特にこだわったのは、ごんぎつねの頭の後ろの色です。なぜかという、国語の教科書では、ごんぎつねの頭の後ろは、だんだん後ろにいくごとに茶色になっていることに気づいたので、自分も同じようにだんだん茶色を濃くしていきました。時間をかけて色をぬったのを今でも覚えています。

ほくは、ごんぎつねの絵が気に入っているのも、今も部屋にかざっています。ごんぎつねの絵のように、こだわって作るものをまたやりたいと思いました。



俳句の林間学校 「第14回こもろ・日盛 俳句祭」

ひざかり

- 日 程 7月29日(金)～31日(日)
 - 場 所 【主会場・シンポジウム】ベルウィンこもろ 【講演会】ステラホール
 - 内 容 吟行【午前】…市内・郊外・高峰高原
句会【午後】…ベルウィンこもろ・読書の森・高峰高原・ほんまち町屋館・海應院・虚子記念館
相生会館・与良館・あぐりの湯
シンポジウム 7月29日(金)午後4時～ テーマ 未定
講演会 7月30日(土) 午後4時～ 講師：本井英氏 演題「小諸と虚子」
 - 参加費 一人1日2,500円(当日申込みは3,000円)※高峰高原吟行句会は別途昼食・バス代2,000円
 - 申込締切 7月15日(金)(高峰高原吟行句会は6月30日)
 - 問合・申込先 市立小諸高濱虚子記念館 ☎0267-26-3010 ※水曜定休(祝日の場合は翌日)
- ※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、中止となる場合があります。

参加者募集

わたしの宝物

No.4

「祖父に感謝と 尊敬を込めて」

谷地原区 宮沢 芳文

我が家の居間に大きな表彰状が掲げられています。そこ

には『日本国天皇は土屋寅次郎を勲7等に叙し青色桐葉章を授与する 昭和56年4月29日皇居において璽をおさせる』と書かれています。土屋寅次郎は私の祖父です。祖父は明治39年に小瀬林業村で生まれ育ち、人知れずひたむきに軽井沢の森林を守り育てることを一筋に、昭和57年に76



歳でその生涯を全うしました。寡黙で穏やかで素朴でいつも笑顔で、地下足袋をはいて腰にナタを下げて、山の中を自分の庭のように歩き回っていました。

旧軽銀座の賑やかで華やかな街並、そこを少し離れると景色が一変します。見事な落葉松（からまつ）並木が続く『笠通り』、足を進めると景色はさらに深い森の中です。軽井沢はどこに行っても住宅街を少し離れると落葉松の美しい森の中です。

山あいの深い木立の中に祖父母の家がありました。南側には日差しが柔らかく暖かい縁側が、東側には鉄の大きな薪ストーブ兼カマドがあり、その周りを囲むように板の間の台所がありました。カマドの脇で食べる炊き立てのじゃが芋やモロコシ、味噌の焼きおにぎりは私の大好物、縁側はお気に入りの場所でした。春には山菜取り、秋にはキノコ採り、祖父の大きな背負

いかごはあつという間にいっぱいになっていました。夏には川を堰き止めて岩魚のつかみ取り、今となつては貴重な経験ばかりですが、遊びにばかり夢中の私は何ひとつ身につけてはいません。もったいない限りです。

祖父母の家の北側の坂を上ると、山の中とは思えない開けた場所がありました。昆虫の宝庫で小さな池もあり、私の格好の遊び場。ここに軽井沢東部小学校小瀬分室がありました。おそらく草軽電鉄・長日向駅もここにあったと思われまふ。そして祖父が生まれ育ったこの村が小瀬林業村です。



小瀬林業村は明治42年に国有林の造林事業を行うため、林業従事者が集められた村です。当初7戸から始まり、昭和14年には9戸48名が暮らしていました。浅間山南麓は天明3年の大爆発でほぼ全域が厚い軽石層で覆われ、植物は焼け落ちました。明治後半になると大規模な植林が始まりました。小瀬林業村の方々は火入れをして地ごしらえ、落葉松を主体に植林、以後2、3代目と継続し、軽井沢の森林の育成に貢献してきました。長い年月をかけて現在のよう



な美しい森林景観に生まれ変わりました。昭和40年代後半にその幕を閉じ、東信森林管理署（旧営林署）にその任は託されました。

頌徳碑には次のように記されています。『土屋周作（曾祖父）明治35年より31年間の長きにわた

り国有林の造林事業に当地の先駆者として従事しその発展に寄与した
次男吉治 軍隊より帰って後小瀬林業村の指導者として日夜林業進展に貢献し林業村の繁栄の基礎を築いた
三男源作 父や兄と共に力を尽した
五男寅次郎 父兄の意思を継ぎ小瀬林業村の歴史を閉じる迄造林事業一筋に生涯を全うした（抜粋）

引用・参考文献
研究論文

『浅間山南麓における

国有林と森林景観との関係』

中田瑞恵 油井正明

第43回 「小山敬三美術館友の会 着衣人物写生会」

- 日 時 第1日目 令和4年6月12日(日)
受付開始 8:40～(16:00頃終了)
- 第2日目 令和4年7月3日(日)
受付開始 8:40～(16:30頃終了)
- 会 場 小諸市文化センター 第一講義室、軽運動室
- 指導者 桶田 明夫/白鳥 純司
- 持ち物 イーゼル、昼食(飲み物は用意してあります。)
- 問 合 小山敬三美術館友の会 TEL 0267-22-0236 (高橋)



~~~~~

ご利用ください!

## 小諸市 晴つ楽つ 人材バンク

公民館では、多彩な知識や技能、経験をお持ちの方を登録し、公民館活動や生涯学習の場で活躍していただくために

「小諸市晴つ楽つ人材バンク」を設置しています。

現在、32名63講座が登録されています。蕎麦打ち、手芸、パソコン、ダンスなど多彩な講座が揃っていますので、是非ご活用ください。なお、人材バンク登録情報は公民館又はホームページでご確認ください。

また、新たな登録も随時募集していますので、特技や趣味などをお持ちの方でご指導いただける方は是非ご登録をお願いします。

申込・問合せ先 小諸市公民館

利用方法や  
詳細など  
コチラ



### ー 7月公民館講座のご案内ー

申込みは平日9:00～17:00。申込み多数の場合は、初めての方を優先とし公民館にて責任抽選いたします。なお、申込み少数の場合や新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座が中止や変更になることがあります。

▼小諸市文化センター  
TEL 0267-23-8880  
FAX 0267-25-2224

#### こもろ女性の家 **ジャイロキネシス**

体が楽になるストレッチ体操

- 【講師】 ジャイロキネシス認定トレーナー 鈴木絵美
- ◇開催日 7/5(㊄)、18(㊄)(1回のみでも参加OK)
- ◇時 間 10:00～11:30
- ◇場 所 乙女湖体育館
- ◇定 員 15名 ◇費 用 無料
- ◇持ち物 ヨガマット(バスタオルでも可)
- ◆申 込 6/2(㊄)～10(㊄)



#### こもろ女性の家 **お家時間を楽しむ**

簡単に楽しむ押し花アート

- 【講師】 押し花サロン プレセッフルール華色香 代表 新里愛耶華
- ◇開催日 7/12(㊄)
- ◇時 間 10:00～12:00
- ◇場 所 陶芸木工室
- ◇定 員 24名
- ◇費 用 1,000円(材料費)
- ◆申 込 6/6(㊄)～14(㊄)



#### こもろ女性の家 **多肉植物の世界**

多肉植物との付き合い方を学ぶ

- 【講師】 錦玉園オーナー 児玉賢一
- ◇開催日 7/14(㊄)
- ◇時 間 10:00～13:00
- ◇場 所 錦玉園(現地集合)
- ◇定 員 15名
- ◇費 用 1,000円(寄せ植え体験ほか)
- ◆申 込 6/7(㊄)～14(㊄)



# JAXA宇宙飛行士 油井亀美也さん

# 夢をはぐくむ講演会



JAXA宇宙飛行士 油井亀美也さん

1970年長野県南佐久郡川上村出身。2015年、第44次／第45次長期滞在クルーのフライトエンジニアとして国際宇宙ステーション（ISS）に約142日滞在。滞在中は、宇宙ステーション補給機「こうのとり」5号機のキャブチャ（把持）を含むロボティクス運用、宇宙環境を利用した日本および国際パートナーの科学実験、医学実験などを実施した。

日時 令和4年7月2日 **土**

14:00～15:00

【開場13:30】

会場 小諸市文化センター

小諸市甲1275-2（乙女湖公園内）

対象 原則として小諸市民の小学4年生以上

■入場料 無料(ただし、事前申込みが必要です。)

■申込締切 6月17日(金) 17:00まで

※先着400名様まで受付します。締切前に定員に達したときは、その時点で終了となります。

■申込方法 ・ながの電子申請

小諸市ホームページ

・小諸市文化センター窓口 または電話（平日9:00～17:00）

■入場券 申込み受付後、入場券（ハガキ）を郵送します。

（当日、裏面を記入してお持ちください。）

※新型コロナウイルスの感染状況や、飛行士の急な業務の都合等により、講演会が中止になることがあります。

お申込み・お問い合わせ先 小諸市文化センター ☎0267-23-8880

【主催】小諸市教育委員会（小諸市文化会館自主事業実行委員会）【共催】小諸市文化協会 【後援】小諸市PTA連合会

## 6月 小諸市文化会館スケジュール

| 日・曜   | 開演             | イベント名                | 主催者                | 問い合わせ先                     |
|-------|----------------|----------------------|--------------------|----------------------------|
| 2(木)  | 10:00<br>13:30 | 令和4年度<br>小諸・小諸商業芸術鑑賞 | 小諸高等学校<br>小諸商業高等学校 | 0267-22-0103<br>(小諸商業高等学校) |
| 5(日)  | 14:00          | 第32回定期演奏会            | 佐久長聖高等学校<br>吹奏楽部   | 0267-68-5588               |
| 23(木) | 13:00          | 食品衛生講習会              | 佐久食品衛生協会<br>小諸支部   | 0267-23-6745               |
| 26(日) | 14:00          | 自衛隊ふれあいコンサート         | 小諸市防衛協会            | 090-8519-1858              |

### 受付開始日

【公民館・こもろ女性の家】（貸出備品含む）

令和4年8月利用予約 6月1日(水)

【乙女湖体育館】

令和4年12月利用 予約6月1日(水)

【文化会館】

令和5年6月利用 予約6月1日(水)